
第3弾日本州構想「各州をデザインする」に関するコメント

2023年2月

光多 長温*

道州制になった場合に、いかなる国土像になるか、難しいテーマについてコンパクトにまとめていただいております。道州制へ期待が大きくなる感じがします。改めて、国土形成計画（平成27年版）の広域地方計画の地域別地方計画¹を読みました。従来から言われるように（各都道府県の意見を取りまとめたため）総花的で「広域地方」といった場合に余り特色を打ち出せていない感じがする。それに比べれば各州の将来像をコンパクトに描いており、著者の造詣を感じるものである。

その中で、（細かいことを言えばきりがなし問題点をあげれば際限がありませんが）前向きの議論としていくつかの論点を述べてみたい。

1. 区域割ですが、北関東州と南関東州に分けることの意義は何でしょうか。関東州として、アメリカのワシントン特別区のように、東京都（これも著者がいう23区+武蔵野・三鷹市の方が違和感がない）を特別区にした方が良く考えます、この点いかがでしょうか。埼玉と、千葉（特に千葉市以西）と神奈川は行動域で言えば一体となっているのではないのでしょうか。また、羽田空港（第6次まで計画あり）及び羽田・川崎周辺の（ハイテク・メディカルを中心とした）ポテンシャルをもう少し強調して良いのではないのでしょうか。
2. 四国州は著者も困ったのではないのでしょうか。筆者（コメンテーター）は1980年代に旧国土庁から四国4県の全体像（四国は一つ）を描く調査委託を受けましたが、答えが見つからなかったのが本当の所でした²。現国土形成計画の四国広域地方計画でも「歴史・文化、風土を活かした個性ある

* 公益財団法人都市化研究公室 理事長

1 改めて、広域地方計画の言葉に違和感を持った。確かに、国土形成計画法でも「広域地方計画」の表現となっている。なぜ、広域地域計画ではないのか。やはり、国土計画に関しては地方なのだろうか。首都圏地方計画ともなっているの、何とも違和感がある。

2 「高齢化に対応した」といったコンセプトで終わったかと思う。これだけ4県が歴史的にバラバラで全く別の方向を見ている地域は他にない。

地域づくり」「おもてなしの心あふれた癒やしの実現」といった表現となっていて具体像が描けません。しかし、四国新幹線（しかも一周ではなく、東西に）や地域特区税的なものでは非現実的ではないでしょうか。答えがあるわけではありませんが、中国地方と一体で、中四国州ではまずいでしょうか。

3. 九州は、著者が言うように最も道州制に近いところだと思います。また、著者も新九州州を見事に描いているものと感じました。その中で次の点をどうお考えでしょうか。

- (1) 熊本に滑走路 4,000m の九州空港を造ることは大賛成。これと併せて福岡に九州港をつくることはいかがでしょうか。九州には良港がありません。福岡は釜山港にも近く、これを中核港とすることはいかがでしょうか。
- (2) 熊本の TSMC 及びソニー・ホンダ等の半導体関連一大産業集積が進んでいますし、大学もハイテク関連の学部を新設しております。これをもう少し強調していただいても良いのではないのでしょうか。
- (3) 現在、JR 九州が九州州の先鞭をつけるべく、旅行商品等売り出していますが、これも道州制への土壌づくりの点で触れていただいても良いのではないのでしょうか。

(以上)